

多産系母豚Topigs20は繁殖性に優れ、 体長が長く大型だが、既存のストールで飼養が可能

多産系母豚Topigs20の初産から5産までの繁殖成績の平均値は、総産子数13.8頭、離乳頭数11.7頭、哺乳中事故率4.8%、産子の体重は生時1.7kg、3週齢時7.4kgであり、いずれの項目も国内の生産指標と比較して優れていた。当所慣行法による飼料給与を行った初産から2産では分娩・哺乳に伴う体重減少量がTopigs20の推奨範囲から大きく外れたが、Topigsガイドラインに沿った飼料給与に変更した3産以降は推奨範囲に収まった。以上から、Topigs20の体重管理にはガイドラインに沿った飼料給与が必要であった。また、Topigs20の5産の体型は体長162cm、体重300kgと大型であるが、国内に流通する一般的なストールで飼養可能であった。

表1 Topigs20の繁殖成績

項目	産歴					平均値	生産指標 ²
	初産	2産	3産	4産	5産		
供試頭数(頭)	5	5	5	5	4	24	-
総産子数(頭)	13.4	12.4	13.8	15.8	13.3	13.8	12.6
離乳頭数(頭)	12.8	11.8	12.0	11.2	10.5	11.7	10.2
哺乳中事故率(%)	0.0	1.2	6.8	9.3	9.2	4.8	9.4
産子体重 (kg)	生時	1.6	1.8	1.6	1.6	1.7	1.4
	3週齢	7.8	7.3	7.3	7.5	6.8	6.2

¹平均値、²令和2年度養豚農業実態調査報告書

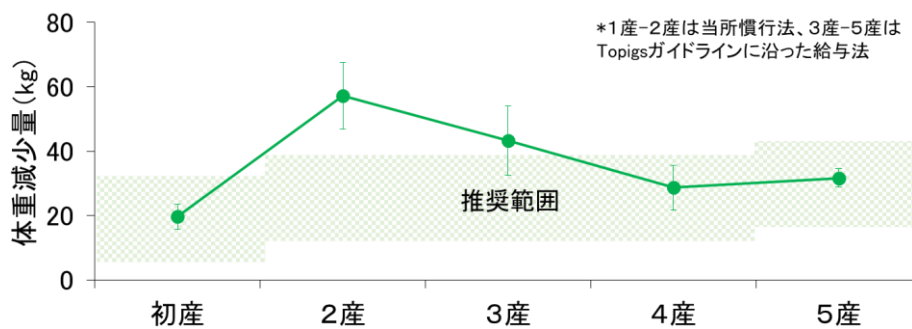


図1 Topigs20の分娩・哺乳に伴う体重減少量



図2 5産のTopigs20 (体長162cm、ストール長辺190cm)

多産系母豚Topigs20はユメサクラエースとの交配により、発育が早い厚脂タイプの肉豚の生産が可能

多産系母豚Topigs20 (WL) に、家畜改良センターのデュロック種系統豚ユメサクラエース、(株)シムコの厚脂タイプデュロック、星種豚場の厚脂タイプデュロックの3系統を交配して得られた各々の肉豚 (WLD) を比較した。ユメサクラエースはシムコ及び星種豚場と比較して発育が早く、筋肉内脂肪含量が多かった。ユメサクラエース及び星種豚場はシムコと比較して背脂肪厚が厚くなる傾向が認められた。以上から、Topigs20は、ユメサクラエースとの交配により、発育が早い厚脂タイプの肉豚の生産が可能である。

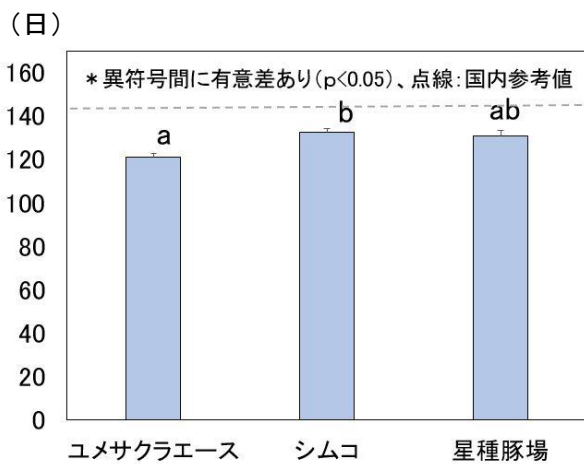


図1 100kg到達日齢(日)

・ユメサクラエースは121日で、シムコより12日、星種豚場より10日早かった。

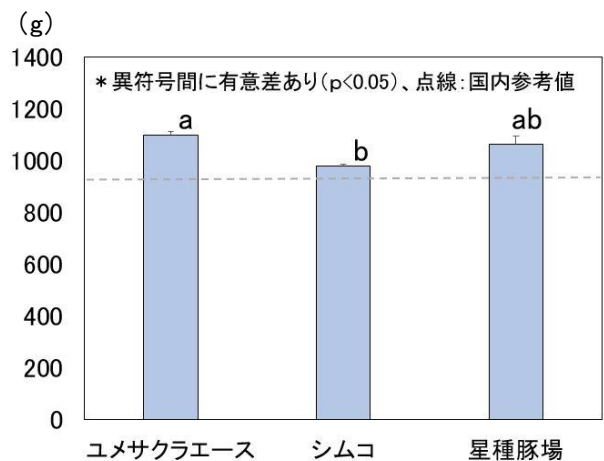


図2 1日平均増体量(g)

・ユメサクラエースは1101gで、シムコより121g多く、星種豚場より38g多かった。

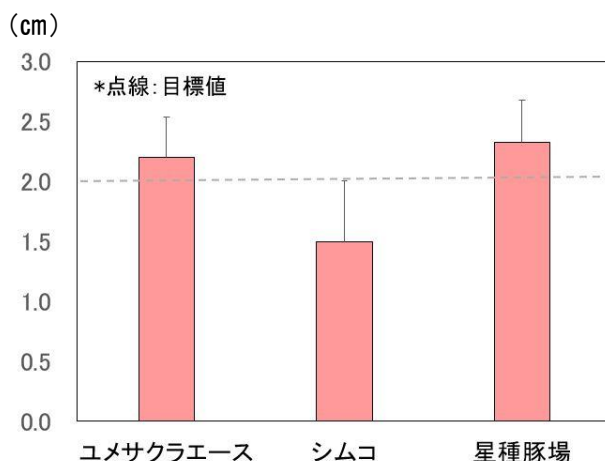


図3 背脂肪厚(cm)

・ユメサクラエースは2.2cmで、シムコより0.7cm厚かったが、星種豚場は2.3cmで差は無かった。

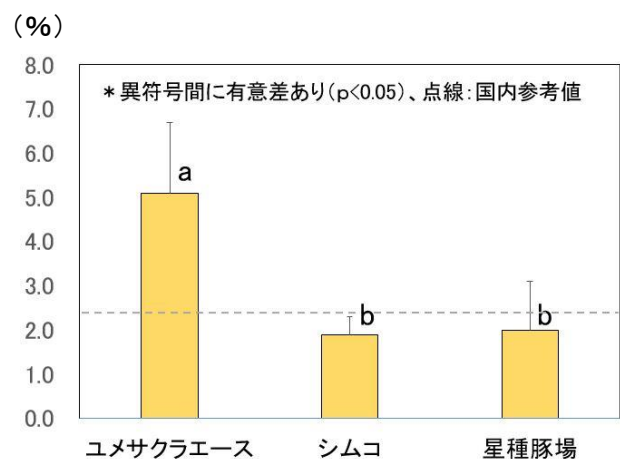


図4 筋肉内脂肪含量(%)

・ユメサクラエースは5.1%で、シムコより3.2%、星種豚場より3.1%多かった。